

9月補正予算が成立

9月定例県議会において、総額156億円余りの補正予算が成立しました。先月の台風18号により被災された方々の暮らしや産業に支障が生じないよう、大雨被害に対応するための復旧予算を確保したほか、北陸新幹線の整備促進や農業振興策の強化、環境資源の保全と活用、福井新々元気宣言の実現などを予算化しました。

台風18号災害への対応

早期の災害復旧と災害の再発防止対策

先月の台風により県道常神三方線や有料道路レインボーラインの法面が崩壊した箇所や、護岸が崩れた美浜町の耳川の復旧、海岸・漁港等の漂着物の除去など、被災箇所の復旧を進めます。

また、再び災害が発生しないようにするため、若狭町の野木川の決壊した堤防の強化や、小浜市忠野や美浜町丹生での砂防堰堤の新設、三方五湖における今後の対策の検討などを行います。



仮設橋の開通に向け、急ピッチで工事を進めた県道常神三方線(若狭町遊子)



破損した堤防を強化する野木川(若狭町下野木)

産業や生活の再建のための支援

・中小企業向けの融資

経営再建に必要な設備資金および運転資金について、利子は5年間、保証料は全期間、全額補給する融資制度を設けます。

・小規模事業者に対する利子補給

被災した小規模事業者に対し小規模事業者経営改善資金(マル経資金)の利子を5年間全額補給します。

・農業者向けの融資

経営再建に必要な資金(肥料・農薬等の購入、農業機械等の購入・修繕等)について、利子を5年間全額補給する融資制度を設けます。

・漁業生産組合・養殖業者向けの融資

経営再建に必要な資金(生産用施設の復旧、種苗の購入等)について、利子を5年間全額補給する融資制度を設けます。

・被災した住宅の再建を補助

市町と共同して、半壊の場合は上限20万円、一部破損・床上浸水の場合は上限10万円を補助します。

詳しくは [福井県 台風18号 被災者支援情報](#)

北陸新幹線の整備促進

埋蔵文化財発掘調査を前倒して実施

北陸新幹線金沢敦賀間の一年でも早い開業を実現するため、新幹線が通過する高柳遺跡など3つの遺跡における埋蔵文化財調査の準備工事に着手します。



福井を元気にする北陸新幹線(イメージ)

えちぜん鉄道の高架化

えちぜん鉄道の線路を、すでに一部完成している新幹線高架の上に仮設置し、現在のえちぜん鉄道の線路を高架にする工事を進めます。

農業振興策の強化

自然光を利用したハウスの整備

四季を通じて野菜などを生産し、産出額を伸ばすため、自然光を利用した大型ハウスの整備を支援します。

企業的園芸の支援

園芸生産を拡大するとともに新規雇用を増やすため、空き工場等の屋内でのLED等を利用した大規模な植物工場の整備を支援します。

環境資源の保全と活用

「里山里海湖研究所」を開設

本県の里山里海湖の魅力や価値を次の世代に伝えていくため、地域とともに研究、教育、実践を行う研究所を、若狭町の縄文プラザに設置します。



研究所を設置する縄文プラザ(若狭町鳥浜)

「年縞」を利活用

世界の宝である水月湖の年縞を、教育や観光に活用する方法や、新たな採取場所などについて検討を進めます。また、年縞が採取された湖であることを示す看板や表示ブイを設置したり、年縞について解説したハンドブックを制作します。

福井新々元気宣言の実現

県産鮮魚・野菜の販路を開拓

県産の新鮮な旬の魚や野菜の販路開拓につなげるため、銀座と南青山にある福井県のアンテナショップと県内の鮮魚店、野菜の生産者などをテレビ電話で結び、直接対面販売を行います。

坂井高等学校の整備

来年4月の坂井地区の総合産業高校の開校に向けて、工業科の実習棟「テクノラボ」を新設します。

災害時医療体制の充実

災害が起きた場合に備え、救急医療を行う拠点となる病院に、ライフラインを確保するための自家発電設備や、患者の急増に対応するためのエアートントや簡易ベッドの整備を支援します。

県都デザイン戦略の推進

昨年度の県都デザイン戦略に基づき、現在は中央公園にある由利公正像を、旧宅跡に近い、足羽川の幸橋南側に移設します。

国体メイン会場の実施設計に着手

平成30年「福井しあわせ元気国体」のメイン会場となる福井運動公園を整備。体育館の新設、陸上競技場の改修などを進めます。



新しい県営体育館(イメージ)

福井ふるさと文学館(仮称)の整備

本県ゆかりの作家や作品に関する貴重な資料を展示する福井ふるさと文学館(仮称)の平成27年2月のオープンに向け、整備工事を本格化します。

嶺南地域を応援

嶺南への誘客促進

原子力発電所の運転停止により、関連する嶺南の企業の売り上げ減少などの影響が出ています。そこで嶺南での集中的な消費を促し、観光客を増やします。

嶺南での消費喚起キャンペーンを展開

より多くの観光客を嶺南に呼び込み、一層の消費拡大につなげるため、嶺南に訪れて買い物をした観光客に対し、購入金額の1割相当の特産品等を進呈するキャンペーンを12月から実施します。

今年度は購入金額1万円のコースを設定、来年度には事業をさらに充実させ、3万円、5万円、10万円にコースを拡大して実施します。



購入金額の1割相当の特産品等と交換

産業団地整備への支援

嶺南の経済振興と雇用の確保につなげる長期的な対策として、将来の産業の核となる企業を誘致することが必要です。そこで、市や町が進める産業団地の整備を応援し、美浜町と敦賀市がそれぞれ実施する地質調査や用地測量に対し支援を行います。

舞若道の全線開通を活かした交流拡大

来年は舞鶴若狭自動車道が開通する予定であることから、嶺北や県外から多くの観光客を呼び込むための記念イベントを開催します。

今年度は、企画や宣伝など、開催に向けた準備を進めます。



来年の開通に向け工事が進む舞若道(敦賀JCT付近)

若狭路は元気です!

台風18号の被害を受けた道路の復旧が進んでいます。

・レインボーライン:片側通行で営業中

・県道常神三方線(若狭町遊子):本日午後3時から仮設橋が開通予定

県では、特産品のPRイベントなどの誘客活動を支援し、通行が可能となった若狭常神エリアを盛り上げていきます。

現在、若狭の主要な観光地は平常通り営業しています。ぜひ、嶺南へ観光にお出かけしてみませんか。